

AVALON 7

特集 Hairy Hustler



**R18**  
成人向同人誌

- 3 ふとしSLIM「えっちごっこ」
- 13 えろしー「処女捨て場」
- 21 男水着チャレンジ④ 森ふみちか
- 22 KIYO／妄想エロ空間①
- 26 女水着チャレンジ③ 川屋滔々

——特集 Hairy Hustler——

- 27 ヒラメドゥサ
- 29 ヒツジソクス「姉の茂み」
- 33 シズオカ
- 35 ちう裏美術研究所 (表紙イラストも)
  
- 37 Berliac「VIRGIN」
- 41 同人作家が選ぶ名曲名盤⑥ 鉢本
- 47 真人@階段巡り／10日間野宿しながら  
四国で階段巡ってみた④
- 50 シリーズ路地裏⑥ 朔月八雲

©鉢本



# AVALON 7号

二〇二二年五月五日 第一刷発行

編集・発行人 野崎祐一

発行所 書肆マガジンひとり

東京都品川区東五反田二・四・六・四〇三

<https://blog.goo.ne.jp/wag18470>


[buglesoundsagain@goo.jp](mailto:buglesoundsagain@goo.jp)



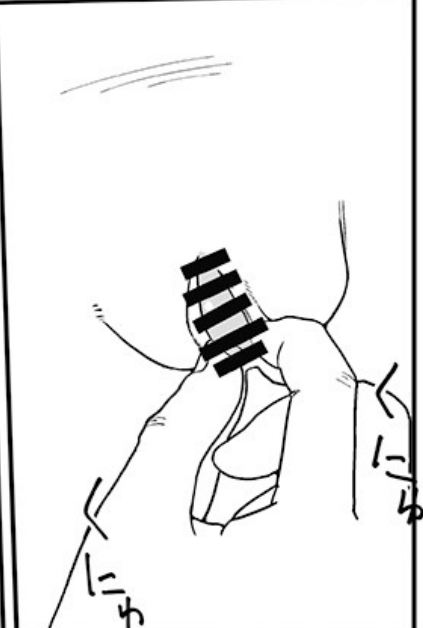
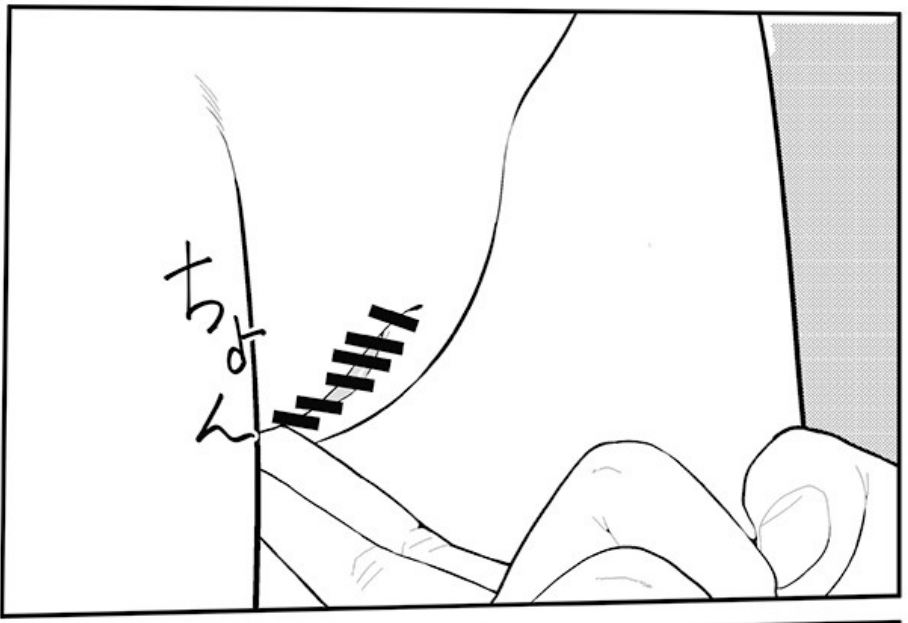
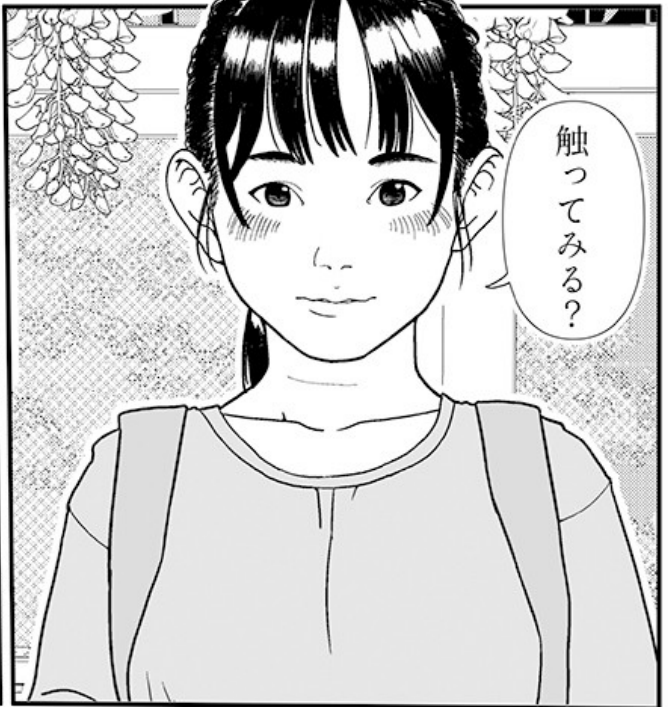
@publisherMH

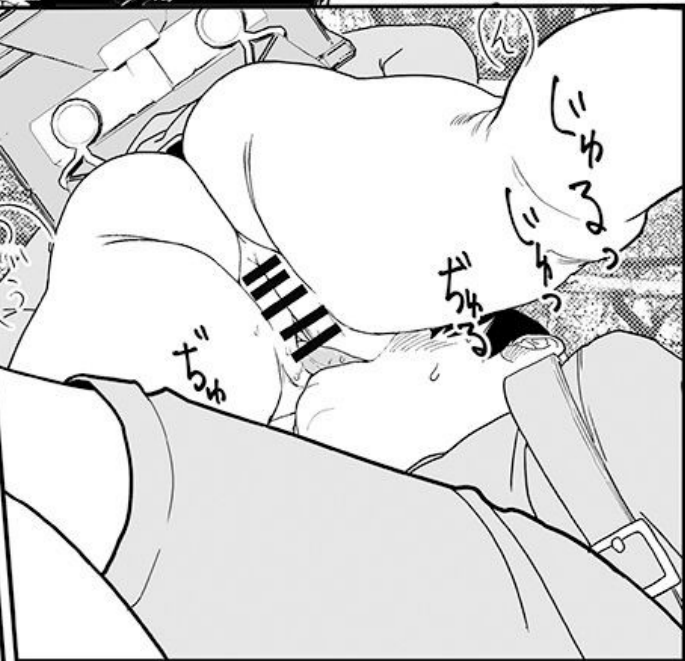
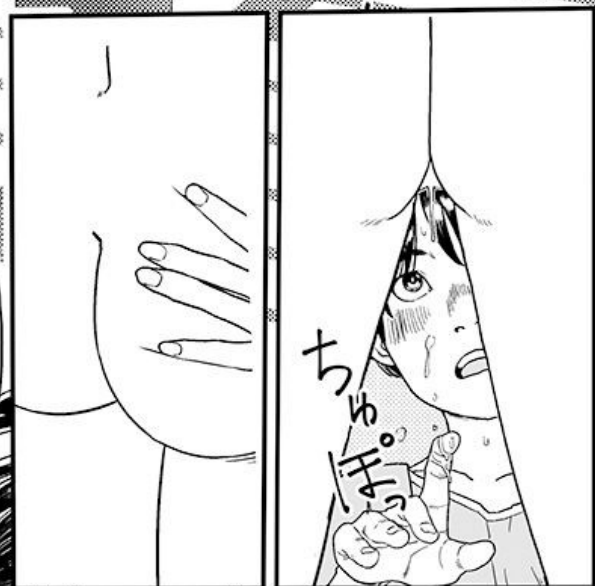
印刷・製本 プリントネット(株)

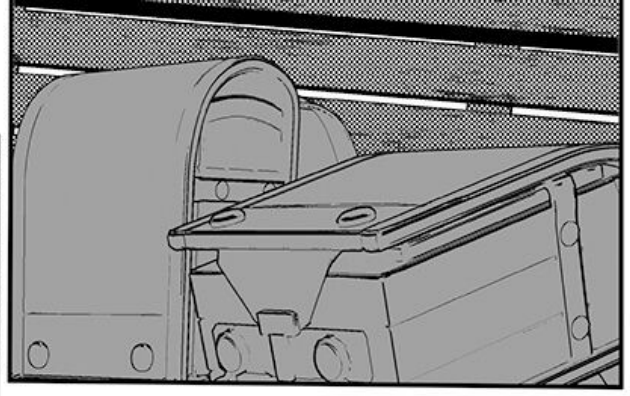
不許無断複製

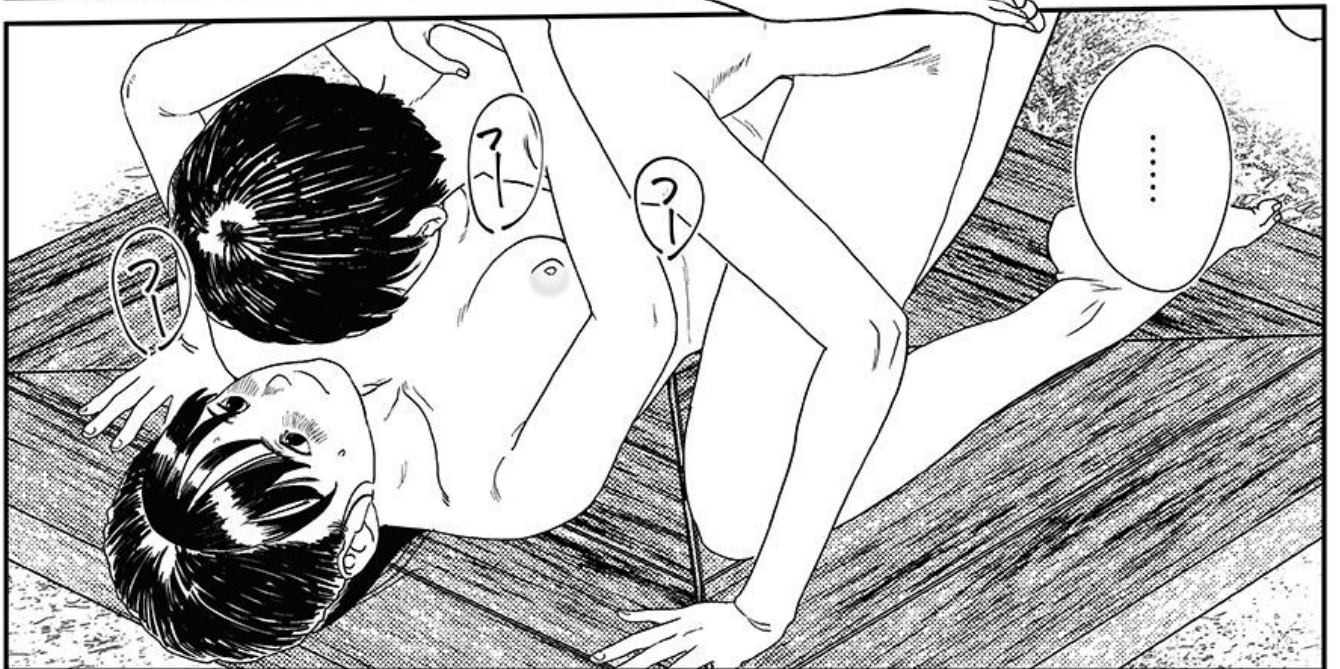


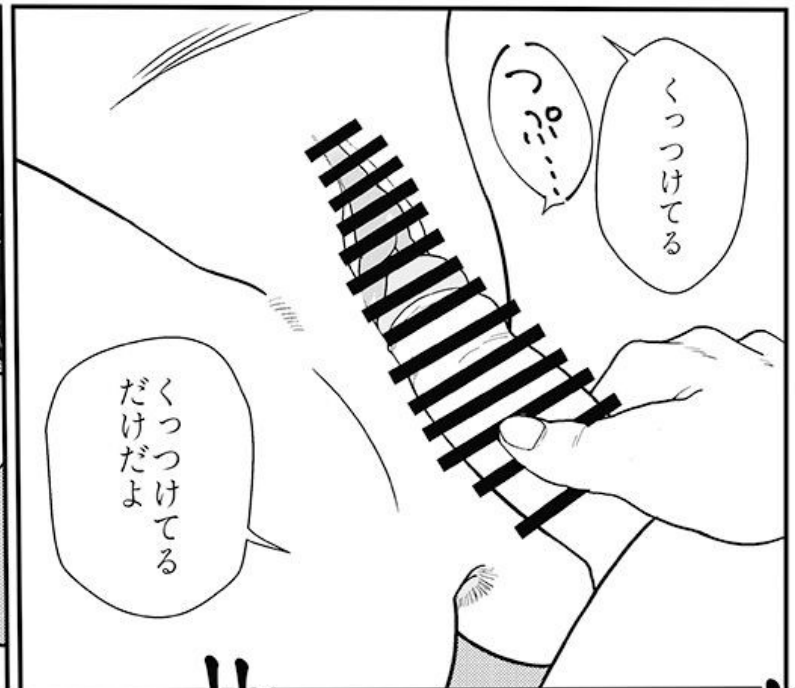
えっちごっこ

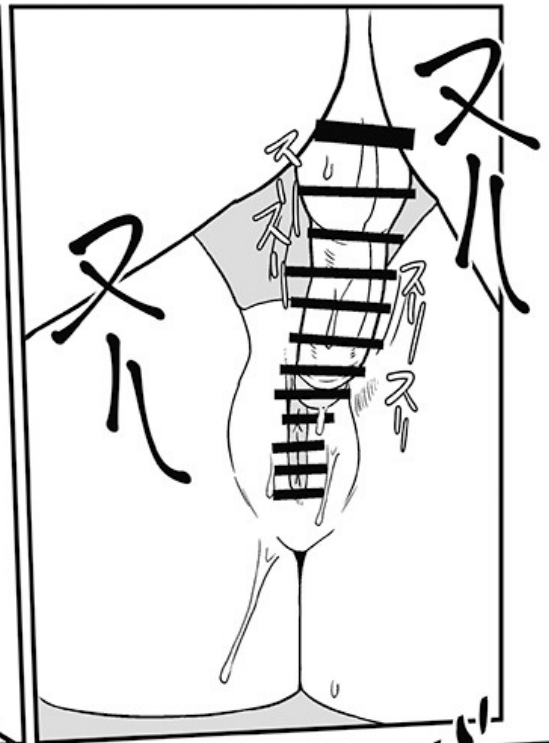
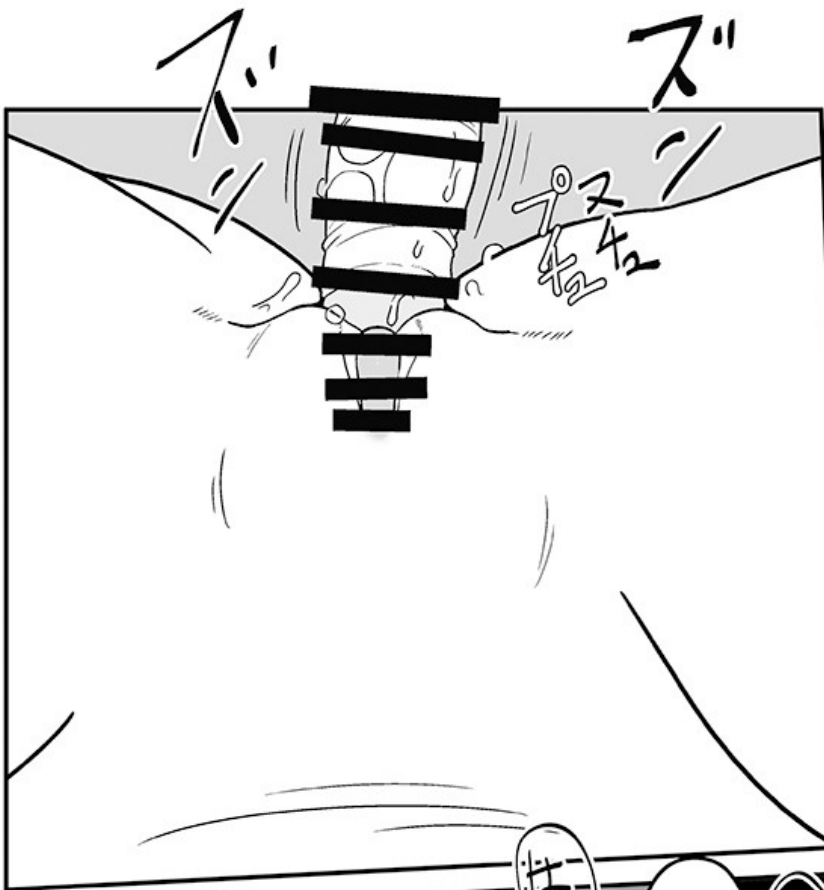
















こんにちは、ふとしSLIMです。  
今回のお話は、僕が小学生の頃に体験した話です。  
仲良しのNちゃんと「男女のアソコはどうなってるんだろうね？」  
と、校庭の藤棚でお互いに見せあっこをしているうちに  
なんだかお互い興奮してしまって、性器を触り合ったり抱き付き合っ  
てしまいました。当時はセックスを知らなかったなのでこの漫画の様に、  
セックスの真似事をして射精まで至るような事はありませんでしたが、  
セックスを知らなくても本能的に抱き付き合ったりするのですから面白い  
ですよ。

この時は良かったのですが、後になって子供心に「恥ずかしい事をした」  
という気持ちになり、遊びに誘ってくるNちゃんを避けるようになってしま  
いました。Nちゃんはその僕を嫌う事もなく、中学を卒業するまで交流を  
続けてくれたのですが僕はこの人に恥ずかしい秘密を握られてるんだ、  
と生きた心地がしなかった思い出があります。



2022年はもっと漫画を描いていく予定です、次の書肆マガジンさんの同人  
誌で、あるいはまた別の場で、またお会いしましょう。

…キスは？  
する？

え…  
あ…

ひ…斐川…さんが  
したいんだったら

—アホか

俺はどっちでも  
いいんだよ

そっちがキスは  
彼氏に悪いから  
したく無いとか  
言うかと思って  
確認してんの

え…っ

じゃ、

じゃあ

しま…せん

「じゃあ」って

なんだよ

それぐらい

決めとけよ

念入りに化粧したり

髪をいったりする

「アホか」とか言うのなんだ

…ごめんなさい

うわ…

こういう人

なんだ…

# 処女捨て場

※でもセックスは上手い

えろしー



……よお

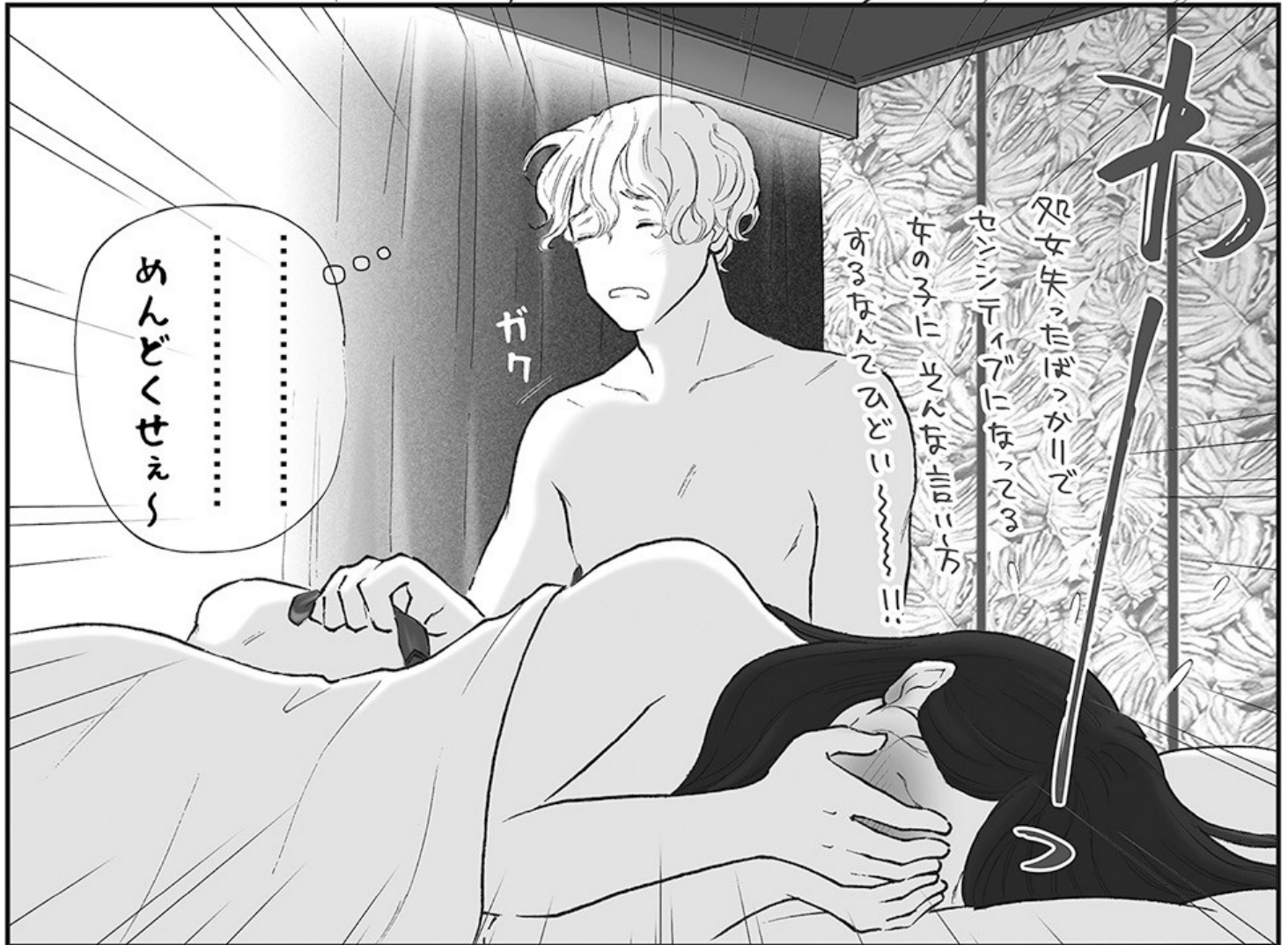
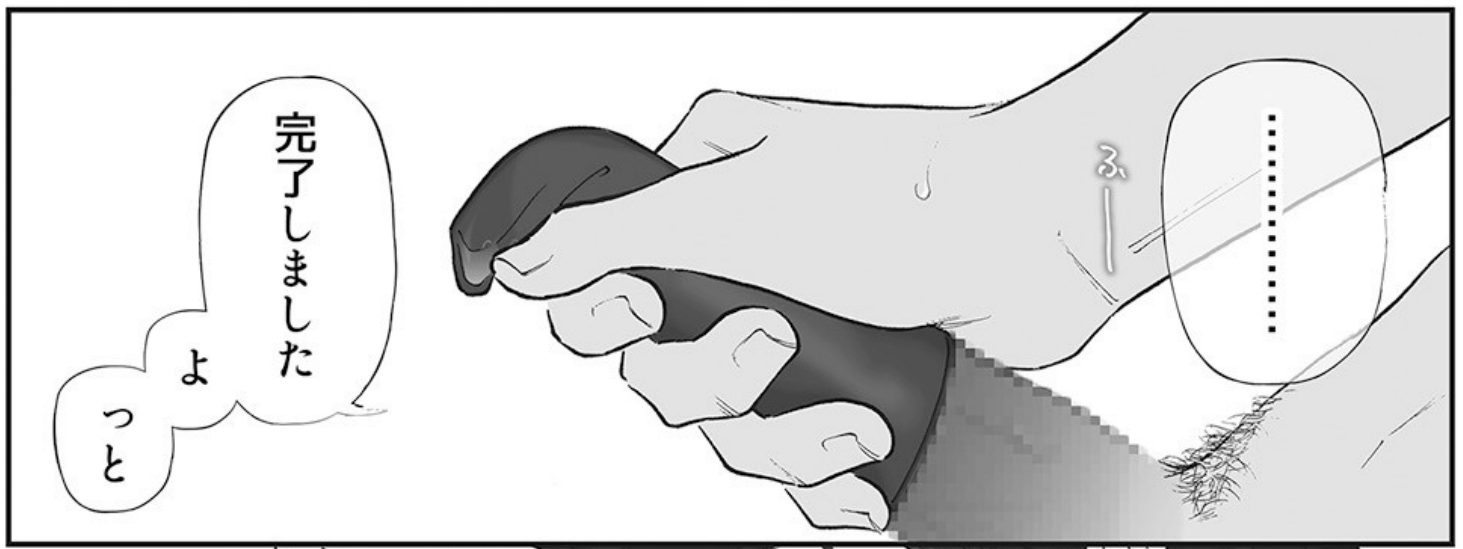
この前と  
エライ雰囲気  
違うじゃねーか



彼氏にバレない  
ように変装か？

……  
違います……！





しかし一度  
こういう事があると  
ロコミ(?)で  
評判が拡がり

友達は経験してるのに  
自分だけ取り残されて  
あせってるとか

せーかくだから今後のために  
フェラチオも体験してみたい  
という刃女

…勝手に番号  
教えるなよハハ

刃女卒業させ屋  
よろしく依頼が  
立て続けに来る

人生で一度きりの  
刃女喪失だから  
ステキな体験に  
したいだとか

ゆきずりの  
チンピラと  
やるののどこが  
ステキなんだよ

頭沸いてんだろ  
この女

理由は違えど  
刃女を捨て急ぐ  
女はたくさんいる

初めてはラブラブ正常位で夢だったと  
初体面の男に密着正常位をリクエストする刃女



しただろ？  
勃起



旨そう







# 男水着 秋 (4)

## ▲ 挑戦者

栗田なお美さん (14)

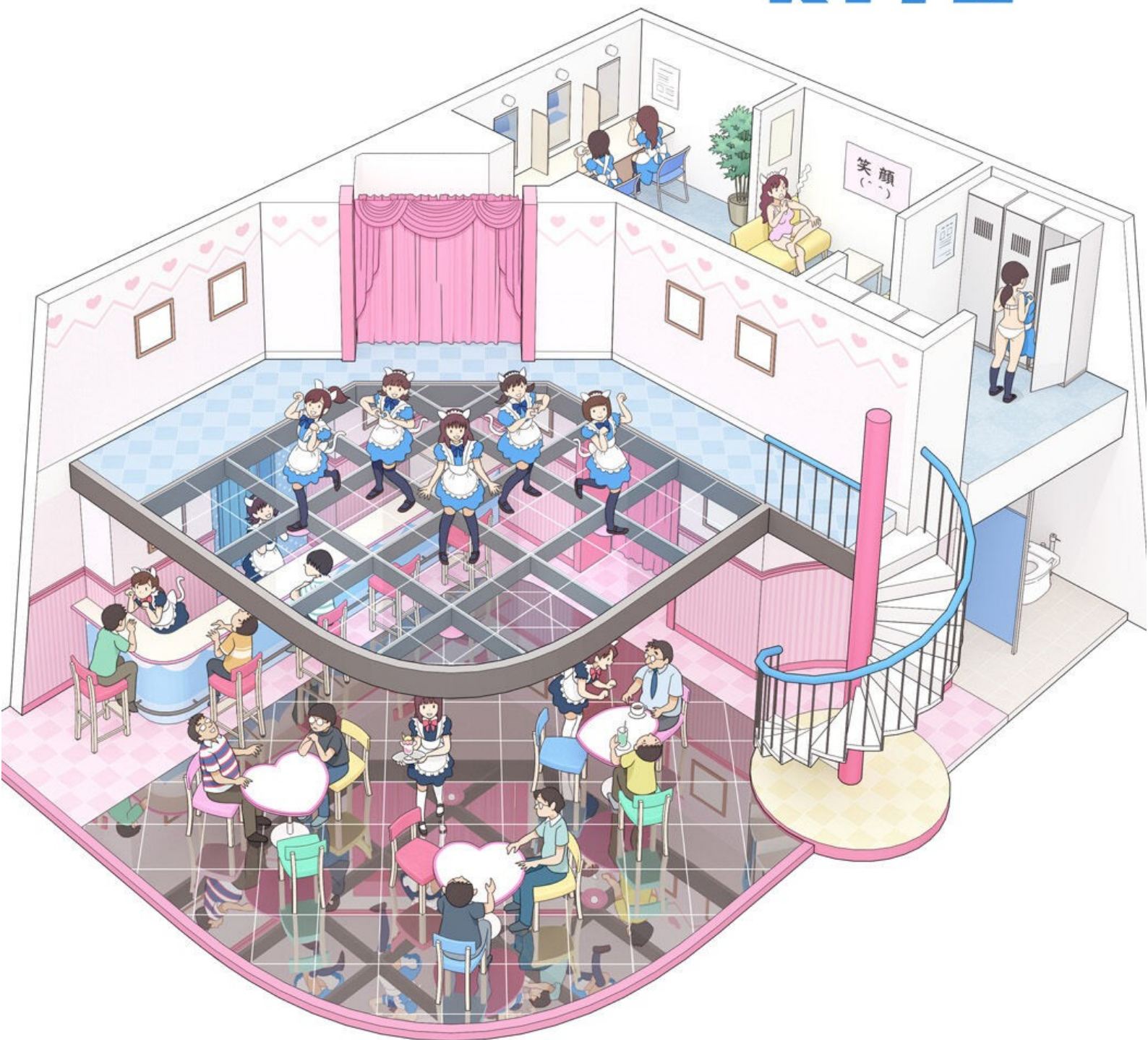
ホントは  
好きなの  
友人 みちかさん (13)

このたびはお声がけくださり、ありがとうございます！うちのオリキャラ JC 百合っぶるで男水着チャレンジ、描かせていただきました！

森ふみちか

# 妄想高空間

KIYO



## 第1回 妄想メイドカフェ

あんなとこいいな、あつたらいいな  
そんなちょっとHな妄想空間を考えるシリーズです。  
今回は“こんなメイド喫茶あつたらいいな”  
床が鏡張り、天井が透明のガラス張り。  
法的にも物理的にも倫理的にも建築不可能かもしれませんが  
あくまで妄想上の空間ですのであしからず^^







男ってバレたらダメなんだア♡

オタクくんマジ変態じゃね？ ウケるW

てかさあゝバレるわけなくない？

だって俺、ちよーカワイイもんっ♡

# 特集 Hairy Hustler



ヒラメドゥサ

The 5th Hairy-themed Anthology



# 姉の茂み 作ヒツジクス

お姉ちゃん  
これからストレッチ  
するから

ねえ  
あつくん



手伝って  
くれない  
かなあ〜？

あけみ  
職業：大学生

おっぱい  
おっぱい

ふーいー！



…牛みてーに  
だらしねー  
身体

おっぱい

おっぱい

…とまあ姉に  
悪態ついては  
いるが

何だかんだで  
俺たち姉弟は  
仲良しだ

お姉ちゃんのふわふわ  
デカパイでスケベ粘液  
ブチ吐きたくなつて  
キタかなあ♡♡

金玉こしらに持えた超絶近似  
遺伝子ミルクを…♡  
近親姉愛撫でドピュッと  
出したいよねっ♡

それこそ淫肉淫汁  
貪りあうほど  
仲良しなんだ

お姉ちゃんの  
蒸れ乳谷間で精子  
コキ捨てちゃいなっ♡



一日蒸れ続けた腋毛  
濃縮フェロモンも  
召し上がり♥

弟子シポが  
挿いってきたあ♥

実姉本気汁で濡れ濡れな  
危険日真っ盛りマ〇〇の  
具合はどうかなあ♥

言語絶せし  
膾具合



回  
鶏



回鷄

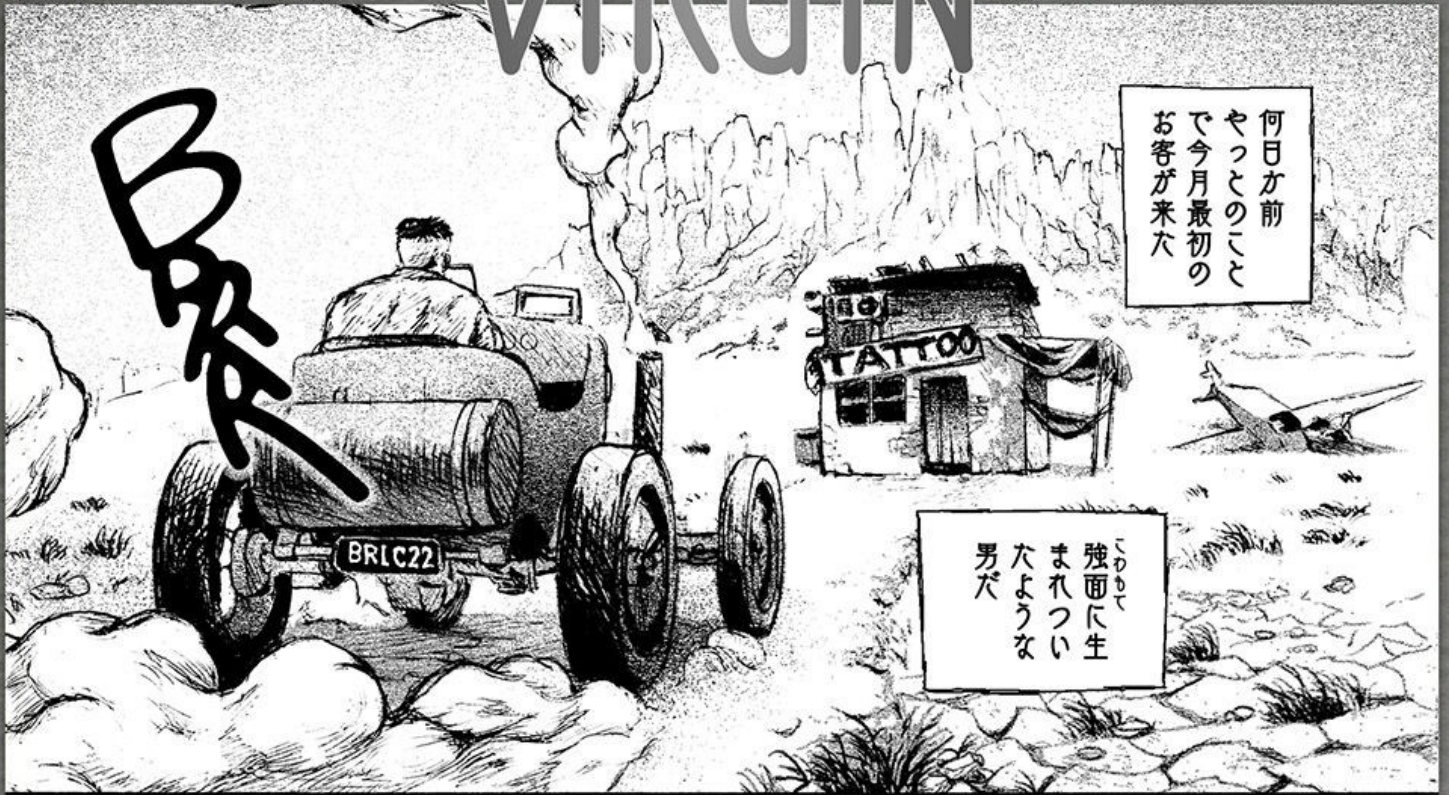


THE  
ART INSTITUTE  
OF  
CHIRAURA  
チラ裏美術研究所





# VIRGIN



何日か前  
やつのこと  
で今月最初の  
お客が来た

こわくて  
強面に生  
まれつい  
たような  
男犬



男は壁に掛かっ  
ているデザイン  
を見ようとし  
ない

佛説  
觀自在  
波羅蜜  
摩訶般若  
菩薩行深  
照見五  
色相



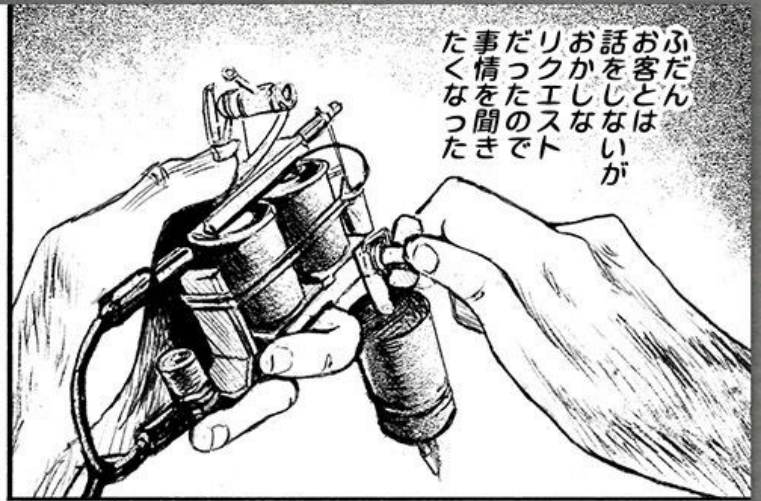
血の涙を  
流す聖母

いうつしやいませ  
どんなお望み  
でしょう

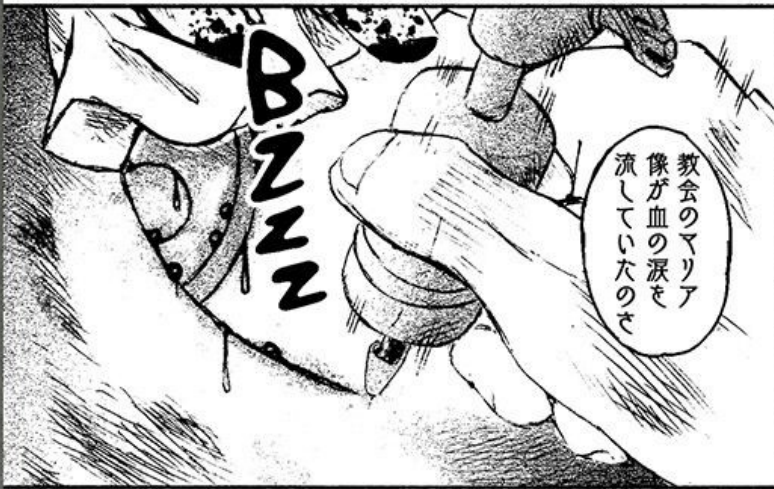


子どものころ  
山奥のふるさと  
でのことだ

ある奇跡  
のうわさが  
流れて



ふだん  
お客とは  
話をしないが  
おかしな  
リックエスト  
だったので  
事情を聞き  
たくなった



教会のマリア  
像が血の涙を  
流していたのだ



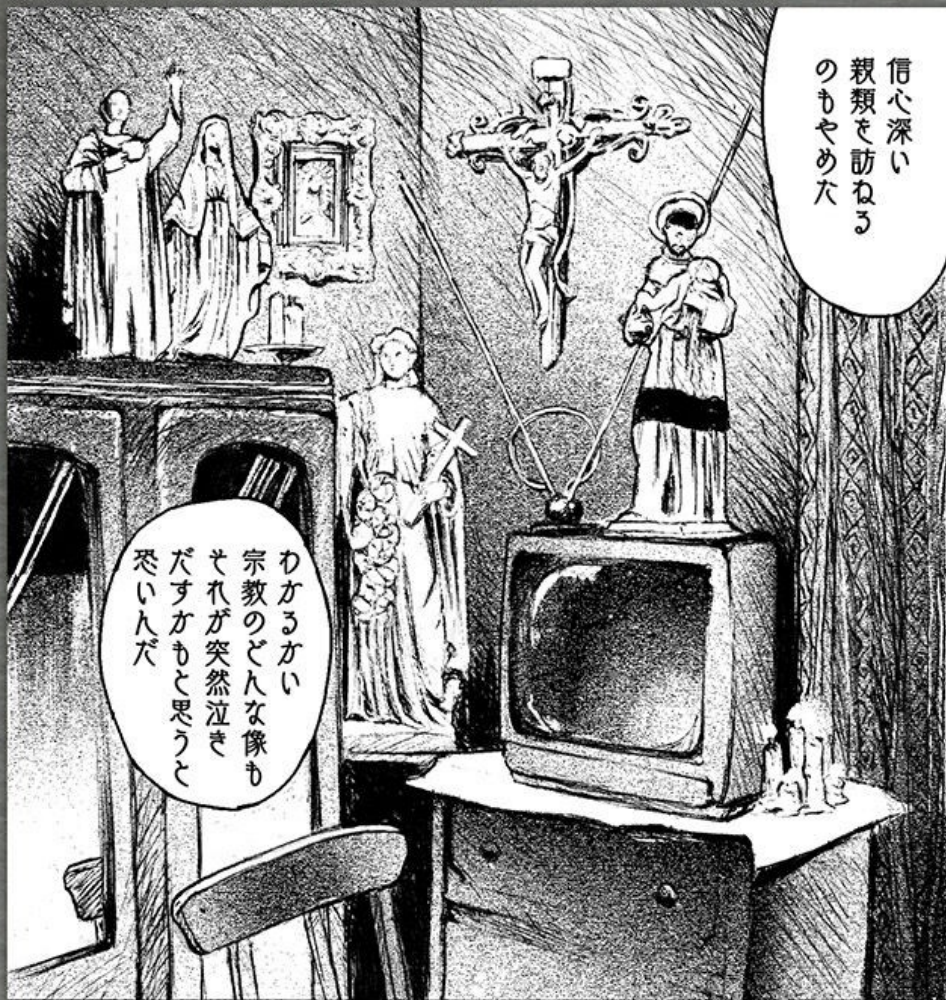
その奇跡は  
おれの心を  
恐怖で  
満たした



血が恐かった  
人じゃない  
おれは4歳から  
鶏を締めて  
いたからな

貧しい教会だった  
磁器じゃない  
安いジエツソの  
像が泣いていた

なぜ  
そんな  
ことが



信心深い  
親類を訪ねる  
のもやめた

わかるかい  
宗教のどんな像も  
それが突然泣き  
だすかもと思うと  
怖いんだ



その日ガウ  
おれは教会へ  
いかなかった

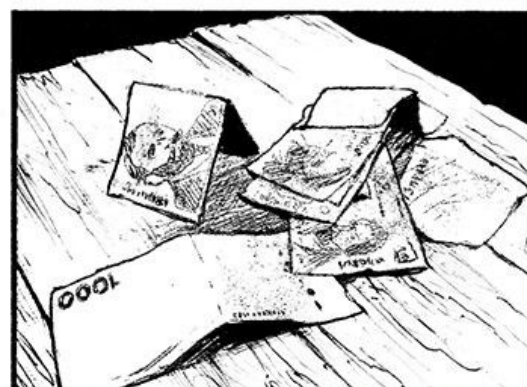


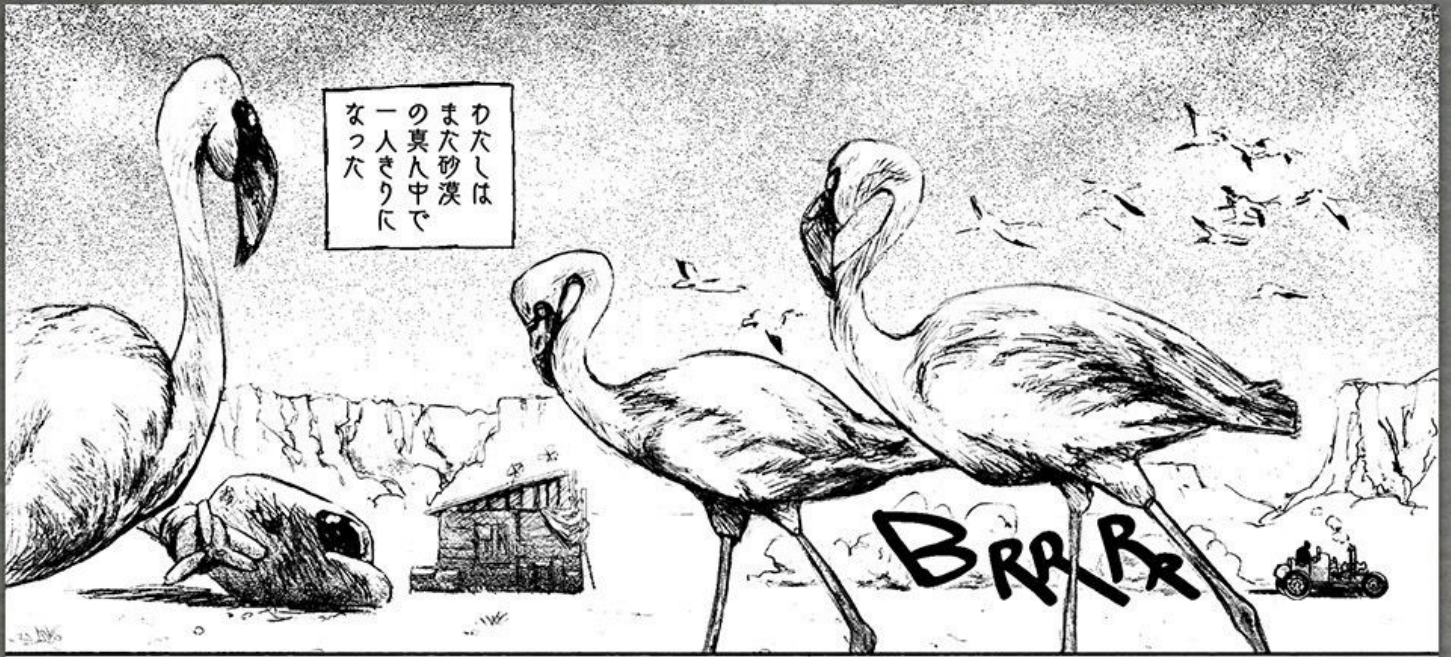
おれの親父が  
死んだので  
きのう故郷に帰  
って葬儀に出た

どんなにし  
ても涙がこぼれ  
るのを止めら  
れなかった



ええ  
終りました





わたしは  
また砂漠  
の真ん中で  
一人きりに  
なつた

BRAA



最大の恐怖を  
わざわざ背  
中に残す  
それを手伝う形  
になつたのか…

あついは…



彼は十字架を  
両肩に背負う  
つもりなのかも  
しれない

父の幽霊が  
やってくる  
お迎えの日が来た  
と告げるまで

BERLIOZ  
22

# 同人作家が選ぶ 名曲名盤

Number.

06

Author.

鉢本

あれは中学時代のある夜の事です。私は風呂に浸かりながら、いい心で「仮面ライダー・ストロンガーのうた」を熱唱していました。それはもう、風呂の湯も沸騰するのではないかと熱く、心を込めて歌っていました。すると、窓の外から爆笑の声が聞こえてくるではありませんか。うら若き女性たちの声です。どうやら風呂場のリバーブが効いた私の熱唱が、外の通りを歩く女性たちの耳に届き、彼女たちを爆笑させているようなのです。しかし私は歌うのを止めませんでした。なぜなら、風呂場でストロンガーのうたを歌うのは最高だからです。この気持ちよさの前に、見ず知らずの誰かの爆笑など些細なことです。私は高らかに歌い上げました。

恥ずかしさより、気持ちよさを優先する。その姿勢は、大人になった今、エロ漫画で生計を立てる上で、大きな財産となっている気がします。恥ずかしがってちゃエロは描けない。おのれの秘めたるいやらし〜い趣味を、俺はこういうのが一番シコれるぜと、世間に堂々と発表してこそ、お客さんの心に響くのではないのでしょうか。そう信じて、日々、右手にペンを、左手にはペニペニを握り……あれ？なんの話でしたっけ。え〜オホン。名曲・名盤紹介のコーナー〜！趣味の合う方、何かオススメがあったら、今度教えてください。それではどうぞ！



## 100 Songs

- Santo & Johnny / Sleep Walk (1959)
- The Shadows / Spring Is Nearly Here (1961)
- Simon & Garfunkel / The Sound of Silence (1965)
- The Jimi Hendrix Experience / Purple Haze (1967)
- The Mamas & the Papas / Dedicated to The One I Love (1967)
- The Rolling Stones / 2000 Light Years From Home (1967)\*1
- Procol Harum / A Whiter Shade of Pale (1967)
- David Bowie / Space Oddity (1969)
- The Beatles / Don't Let Me Down (1969)
- はっぴいえんど / 12月の雨の日 (1970)
- Led Zeppelin / Stairway to Heaven (1971)
- Pink Floyd / Echoes (1971)
- Focus / Hocus Pocus (1971)
- 三上寛 / ひびけ電気釜！！ (1972)
- 大滝詠一 / おもい (1972)

※1



Genesis / Firth of Fifth (1973)  
Kayak / See See the Sun (1973)  
King Crimson / Starless (1974)  
グレープ / 追伸 (1974)  
Neil Young & Crazy Horse / Cortez the Killer (1975)  
佐井好子 / 冬の地下道 (1975)  
四人囃子 / 泳ぐなネッシー (1976)\*2  
YES / Awaken (1977)  
HEART / Barracuda (1977)  
Dire Straits / Sultans of Swing (1978)  
Sid Vicious / My Way (1978)  
Frank Zappa / Watermelon in Easter Hay (1979)  
新●月 / 鬼 (1979)  
Joy Division / Transmission (1979)  
吉田政美 / オレンジ・シティの朝 (1980)  
ゴダイゴ / (カミング・トゥゲザー・イン・)カトマンズ (1980)  
New Order / Ceremony (1981)  
ヴァージンVS / ロンリー・ローラー (1981)  
Orange Juice / Rip It Up (1982)  
森進一 / 冬のリヴィエラ (1982)  
一風堂 / すみれSeptember Love (1982)  
井上陽水 / リバーサイドホテル (1982)  
Talking Heads / Heaven (1984)  
The Smiths / Reel Around the Fountain (1984)  
TAKESHI & HIROKI / I'll Be Back Again...いつかは (1986)  
Dinosaur Jr. / Tarpit (1987)\*3  
The Cure / Just Like Heaven (1987)  
Suzanne Vega / Luka (1987)  
Pixies / Gigantic (1988)  
Rick Astley / Together Forever (1988)  
浅香唯 / セシル (1988)\*4  
Primus / Tommy The Cat (1989)  
ユニコーン / デーゲーム (1989)  
堀内孝雄 / 恋唄綴り (1990)  
エレファントカシマシ / 遁生 (1990)  
森高千里 / この街 (1990)  
岡村靖幸 / カルアミルク (1990)  
Nirvana / Rape Me (1991)  
Electronic / Getting Away With It (1991)

※2



※3



※4



Kerrs Pink / Mens Tiden Forgar (1992)  
村下孝蔵 / ロマンスカー (1992)  
The Cranberries / Dreams (1993)  
小沢健二 / 天使たちのシーン (1993)  
Sonic Youth / Superstar (1994)  
The Cardigans / Carnival (1995)  
Cloudberry Jam / THIS AND THAT (1995)  
Cast / Alright (1995)\*5  
CAKE / I Will Survive (1996)  
hide / LEMONed I Scream (1996)  
RADIOHEAD / Karma Police (1997)  
Blur / Beetlebum (1997)  
中村一義 / 主題歌 (1997)  
SUPERCAR / Lucky (1997)  
くるり / 続きのない夢の中 (1998)  
NUMBER GIRL / 透明少女 (1999)  
The Flaming lips / Race for the Prize (1999)  
Smash Mouth / All Star (1999)  
Supergrass / Moving (1999)  
金月真美 / トワイライト・アヴェニュー (1999)\*6  
Red House Painters / Between Days (2001)  
たま / 電車かもしれない (2001)  
木村由姫 / i~crossin' the star~ (2001)  
野田順子 / Habit (2001)  
Vanessa Carlton / A Thousand Miles (2002)  
Tommy february6 / je t'aime ★ je t'aime (2003)  
Clap Your Hands Say Yeah / The Skin of My Yellow Country Teeth (2005)  
Little Barrie / Free Salute (2005)  
The Cribs / Men's Needs (2007)  
Those Dancing Days / Run Run (2008)  
PHOENIX / 1901 (2009)  
Klaxons / Echoes (2010)  
神聖かまってちゃん / 友達なんていない死ね (2011)  
ドレスコース / Trash (2012)  
Cynic / True Hallucination Speak (2014)\*7  
The Fin. / Night Time (2014)  
でんぱ組.inc / サクラあっぱれーしょん (2014)  
清 竜人25 / Will♡You♡Marry♡Me? (2014)

※5



※6



※7



シャムキャッツ / GIRL AT THE BUS STOP (2015)  
サニーデイ・サービス / 桜 super love (2016)  
スカート / 暗礁 (2016)\*8  
boy pablo / Everytime (2017)  
Khruangbin / August10 (2018)  
Dayglow / Can I Call You Tonight? (2018)  
アイドルネッサンス / 前髪 (2017)  
日比野記子 / お月様のメロディー (2018)

※8



## 100 Albums

The Beatles / *Sgt. PEPPER'S LONELY HEARTS CLUB BAND* (1967)

Frank Zappa / *HOT RATS* (1969)

Trees / *ON THE SHORE* (1970)

はっぴいえんど / はっぴいえんど (1970)

NEU! / *NEU!* (1972)

Premiata Forneria Marconi / *PER UN AMICO* (1972)

Jethro Tull / *THICK AS A BRICK* (1972)

井上陽水 / 断絶 (1972)

GENESIS / *SELLING ENGLAND BY THE POUND* (1973)

YES / *TALES FROM TOPOGRAPHIC OCEANS* (1973)

Rick Wakeman / *THE SIX WIVES OF HENRY VIII* (1973)

Mike Oldfield / *TUBULAR BELLS* (1973)

Osanna / *PALEPOLI* (1973)

Hatfield and the North / *HATFIELD AND THE NORTH* (1973)

細野晴臣 / *HOSONO HOUSE* (1973)

King Crimson / *RED* (1974)

Pink Floyd / *WISH YOU WERE HERE* (1975)

Camel / *THE SNOW GOOSE* (1975)

Neil Young with Crazy Horse / *ZUMA* (1975)

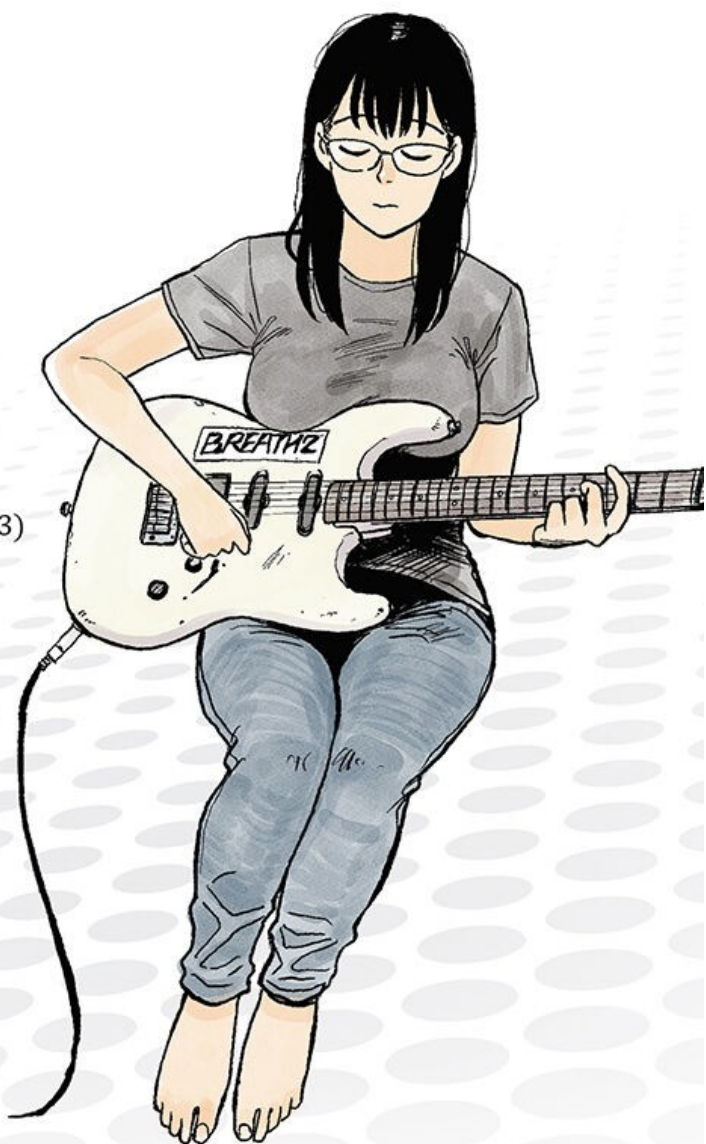
佐井好子 / 萬花鏡 (1975)

川崎燎 / *JUICE* (1976)

四人囃子 / ゴールデン・ピクニックス (1976)

グレイプ / グレイプ・ライブ 三年坂 (1976)

さだまさし / 帰去来 (1976)



SHESHET / SHESHET (1977)

大滝詠一 / NIAGARA CALENDAR '78 (1977)

Camel / BREATHLESS (1978)

Kayak / PHANTOM OF THE NIGHT (1978)\*9

CBS/SONY SOUND IMAGE SERIES / PACIFIC (1978)

Joy Division / UNKNOWN PLEASURES (1979)

新●月 / 新●月 (1979)

YES / DRAMA (1980)

吉田政美 / MY TUNE, MY TURN MASAMI (1980)

RCサクセション / PLEASE (1980)

Anyone's Daughter / PIKTORS VERWANDLUNGEN (1981)

Penguin Cafe Orchestra / PENGUIN CAFE ORCHESTRA (1981)

寺尾聰 / REFLECTIONS (1981)\*10

Asia / ASIA (1982)

CASIOPEA / MINT JAMS (1982)

NIAGARA TRIANGLE / NIAGARA TRIANGLE Vol.2 (1982)

Orange Juice / RIP IT UP (1982)

New Order / POWER, CORRUPTION & LIES (1983)

The Smiths / THE SMITHS (1984)

佐野元春 / VISITORS (1984)

New Order / LOW-LIFE (1985)

The Smiths / QUEEN IS DEAD (1986)

ビートたけし / 浅草キッド (1986)

河合その子 / SIESTA (1986)

Dinosaur Jr. / YOU'RE LIVING ALL OVER ME (1987)

岡村孝子 / SOLEIL (1988)\*11

Morrissey / VIVA HATE (1988)

Pixies / SURFER ROSA (1988)

エレファントカシマシ / 浮世の夢 (1989)

The Stone Roses / THE STONE ROSES (1989)

岡村靖幸 / 家庭教師 (1990)

FLIPPER'S GUITAR / COLOUR ME POP (1991)

The Beyond / CRAWL (1991)\*12

Kerrs Pink / MELLOM OSS (1992)

Nirvana / IN UTERO (1993)

電気グルーヴ / VITAMINE (1993)

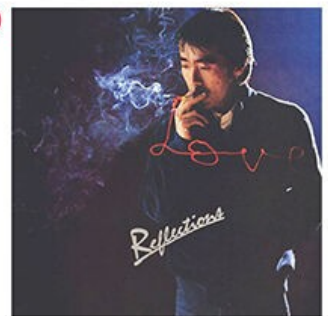
ユニコーン / SPRINGMAN (1993)

小沢健二 / LIFE (1994)

※9



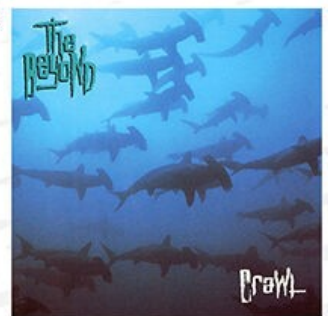
※10



※11



※12



モダンチョキチョキズ / 別冊モダチョキ臨時増刊号 (1994)  
Oasis / (WHAT'S THE STORY) MORNING GLORY? (1995)  
Anekdoten / NUCLEUS (1995)  
Carpenters / 青春の輝き〜ベスト・オブ・カーペンターズ (1995) \*13  
Willie Wisely / SHE (1996)  
サニーデイ・サービス / 東京 (1996) \*14  
YES / KEYS TO ASCENSION 2 (1997)  
RADIOHEAD / OK COMPUTER (1997)  
サニーデイ・サービス / 愛と笑いの夜 (1997)  
中村一義 / 金字塔 (1997)  
Tortoise / TNT (1998)  
片桐彩子 / MESSAGE (1998)  
Supergrass / SUPERGRASS (1999)  
Built to Spill / KEEP IT LIKE A SECRET (1999)  
くるり / さよならストレンジャー (1999)  
ナンバーガール / NUM-HEAVYMETALLIC (2002) \*15  
Kraftwerk / TOUR DE FRANCE (2003)  
野田順子 / PRECIOUS ONE (2003)  
Peter Bjorn and John / FALLING OUT (2004)  
くるり / アンテナ (2004)  
syrup16g / DELAYEDEAD (2004)  
Clap Your Hands Say Yeah / CLAP YOUR HANDS SAY YEAH (2005)  
Amarok / SOL DE MEDINOCHE (2007)  
Those Dancing Days / IN OUR SPACE HERO SUITS (2008)  
100s / 世界のフラワーロード (2009)  
Klaxons / SURFING THE VOID (2010)  
Wild Nothing / GEMINI (2010) \*16  
WHITE ASH / QUIT OR QUIET (2012)  
Aphasia / TAKE IT, YOU NEED MEDICINE (2012)  
CYNIC / KINDLY BENT TO FREE US (2014)  
Pixies / INDIE CINDY (2014)  
Miami Horror / ALL POSSIBLE FUTURES (2015)  
DIIV / IS THE IS ARE (2016)  
Tycho / AWAKE (2016)  
Dinosaur Jr. / EMPTINESS AT THE SINCLAIR (2021)  
FUR / WHEN YOU WALK AWAY (2021)  
ときめきアイドル project / ときめきアイドル Song Collection03 (2021)  
Walt Disco / UNLEARNING (2022)

※13



※14



※15



※16



# 10日間野宿しながら 四国で階段巡ってみた

4日目

## 真人@階段巡り

登段家で貧乏な旅人。野宿大好き。  
「市井の階段」を徒歩とバスで巡ります。





バスに乗って土佐清水を出発し、まずは道の駅大月で下車。観光案内所でレンタサイクルを借りる。一応事前に電話でレンタサイクルを今でもやっているか確認してついでに台数に余裕があるかも聞いたんだけど、ほとんど借りる人がいないような雰囲気だった。実際借りるとき建物と建物の間の物置みたいなスペースの奥から引っぱり出してきて、前回利用あったのはいつだろうっていう状態だった。しかしスポーティで走りやすそうな自転車を安く貸してもらえるので文句は言えない。

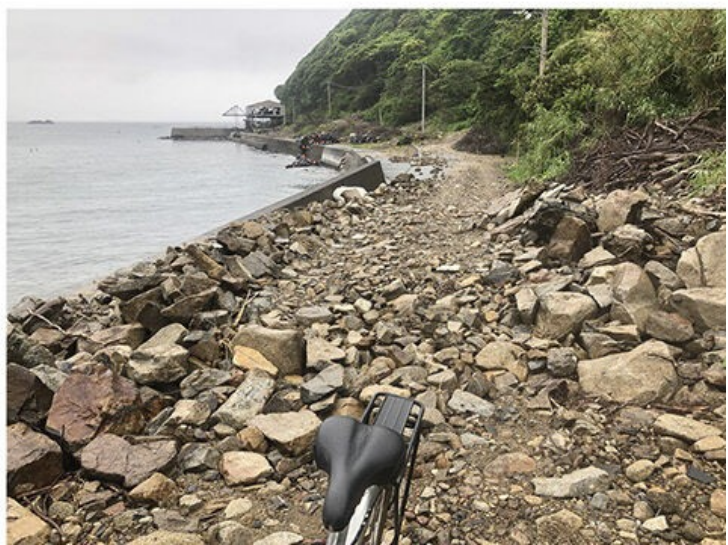
まっすぐ海に出て漁港を巡りながら階段を探していく。こ



どもの日が近いので鯉のぼりを出している家も多い。

と、この先通行止めの看板が現れた。もう少し先まで行けそうだったので入って行ってみると、少し前に土砂崩れがあったようで道に土砂が多く流れ込んでいた。車両の轍はあったので入っていったところ自転車が泥まみれになってしまった。

一切漁港までなんとかたどり着いたところで雨が強くなってきた。バスの時間もぎりぎりになってきたのでここで半島を回り込んで戻ることにした。本当はこの先に柏島とい





う高知でも一番海が綺麗と言われる場所があるのだが、まあこの空では青い海は期待できない。自転車を洗ってから返したかったがバスの時間がなかったので観光案内所の方に謝罪し感謝を伝え宿毛行きのバスに乗り込んだ。

宿毛に到着したらすぐ案内所でタクシーを呼んでもらい港へ向かう。十分歩いていける距離なのだが船の時間に間に合わせるためにはタクシーを使うしかない。今旅で唯一のタクシーだ。

宿毛港で船に乗るのだが、この船は市営だからか乗船の申込書に氏名住所連絡先等を書く必要がある。今だったらコロナ対策でそういうことも不思議ではないだろうが、コロナ関係なくここまで書いたのはここだけだ。待合室が狭い。

鶴来島で下船したところにあったコンテナがかなりいい感じだったのでここで寝たい。しかし鶴来島は人口が余、車道すらなく車が一台もないというとても小さな島だ。ここでいきなり野宿している人間がいたらさすがに怪しすぎるだろう。集落に人が集まっていたのでそこに行き挨拶すると島の区長さんと話ができて、コンテナでの野宿を快諾していただけた。さらに民宿に口添えしていただき、宿で美味しい夕食を頂く。

平成最後の夜、潮風に当たりながら眠りについた。(次号へ続く)

シリーズ路地裏⑥

朔月八雲

書籍マガジンひとり

